

## 517) 水洗トイレ

五月の連休を利用して、近所のお寺に花を撮影に行った時のことでもあります。この寺院には牡丹がたくさん植えられており、近所では結構有名で、花の咲く頃は混雑するのであります。しかしこの日は連休の狭間の平日だったために、ありがたいことに比較的空いていました。小生は、花を撮影するための接写用のレンズと、普通のズームレンズと2本持って、公園に入ったのでありますが、この時に限ってカメラもレンズもケースに入れず剥き出しのままだったのであります。ところがろくに牡丹を撮影しないうちにトイレに行きたくなってしまいました。それも『大』の方であります。カメラを持ってトイレに入ったところまでは良かったのですが、ウエストバックをしていたので、なかなかズボンを下ろすことができない。やむなくカメラをトイレの水洗タンクの手洗いの上に乗せて、両手をフリーにして事にあたることにしました。床に置けば良いのですが掃除したばかりと見えて、まだ下が濡れていたのと、何となく不浄と言うイメージがあったからであります。ところが大を出してみるとこれが思ったよりもニオウので、思わず、臭いものは水に流そうとばかり、水洗のコックを回してしまったのであります。すると水は容赦なくカメラを洗い始めるではありませんか。慌ててカメラを両手に持ったが時すでに遅く、水浸しなのであります。イヤーマズった。まずった。濡れたカメラを両手に持ったまま、まだおしりの始末もできないまま、オジさんはトイレの中でただ一人右往左往していたのであります。アーそれにしても、なんと惨めな姿でしょうか。